末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより
令和６年 **３月号**

「おかげさま」

校長 髙山 和宣

温かい日が少しずつ増えてきました。150 周年記念で植えた桜の木も枝先に小さなつぼみを付け始めました。春を今か今かと待っているようです。

先日の土曜参観では、多くの保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。各学級、学年とも一年間の成長を学習で伝えられるようにと授業に取り組んでいました。授業中に手を上げて発言に向かう姿や友達と協力して発表や応対する姿、学習内容についてよく考え真剣に課題に取り組む姿などから子どもたちの成長を実感していただけたかと思います。

今月 15 日には末吉小学校で育ち、最上級生としてリードしてきた 6 年生が卒業の日を迎えます。保護者の皆様や地域の皆様の温かい支えの中で培った力に自信をもって中学校へ力強く羽ばたいて欲しいと思っております。

卒業生に限らず、すべての子どもたちも、ご家庭や地域の皆様の温かいご理解とご支援の中、皆々様のおかげで、学びを積み上げ続けていくことができました。誠にありがとうございました。

さて、少し話が変わるのですが、感謝を表すこの「おかげさま」という言葉ですが、他の国の言葉ではなかなか単語で表せないそうです。他にも日本語には他の国の言葉では訳すのが難しいものがたくさんあるそうです。「sushi」「tofu」「judo」「mottainai」「kawaii」などもそれで、そういうときは日本語のまま世界で使われているようです。「おかげさま」という言葉も日本語特有の言葉だそうです。「おかげさま」を英語の辞書で調べてみると「Thank you」となっていましたが、日々日本語を使っている私たちからすると少し違った感覚をもっていると思います。久しぶりに会った人に「元気ですか？」と聞くと「おかげさまで」と返ってくることがあります。久しぶりに会ったのですから、その人に何かしてもらったわけではありません。きっとそれは全ての事に感謝をするという意味なのでしょう。見方を広げれば、山も海も風も雲も、隣にいる友達も先生も、お家の人も、地域の人も全ての「人・もの・こと」は私たちに繋がっています。だから、自分を取り巻く全てに感謝して生きてきた歴史の中でつくられた日本語なのでしょう。

今月で令和 5 年度が終わります。子どもたちが、「おかげさま」と感謝の気持ちをもって卒業や進級の時を迎えて欲しいと願っています。

本年度、本校は 150 周年を迎え、いつにも増して様々な場面で大変にお世話になりました。皆々様のおかげで成果も数多く上げることができました。本当にありがとうございました。来年度もご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。